

平成28年11月8日

消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について

消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告のあった重大製品事故について、以下のとおり公表します。

○特記事項あり

石油給湯機、除湿機、電気こんろに関する事故（リコール対象製品）について

（詳細は次頁以降参照。）

- | | |
|--|----|
| 1. ガス機器・石油機器に関する事故
（うち石油給湯機1件） | 1件 |
| 2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因が疑われる事故
（うち除湿機1件、電子レンジ1件、電気カーペット1件、
電気こんろ1件、リチウム電池内蔵充電器3件） | 7件 |
| 3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因か否かが特定できていない事故
（うち電気あんか1件、携帯電話機（スマートフォン）1件、
脚立（アルミニウム合金製）1件） | 3件 |
| 4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故調査判定合同会議（※）
において、審議を予定している案件
該当案件無し | |

1. ～ 4. の詳細は別紙のとおりです。

※正式名称は「消費者安全調査委員会製品事故情報専門調査会及び消費経済審議会
製品安全部会製品事故判定第三者委員会合同会議」という。

5. 留意事項

これらは消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づく報告内容の概要であり、現時点において、調査等により事実関係が確認されたものではなく、事故原因等に関し、消費者庁として評価を行ったものではありません。

本公表内容については、速報段階のものであり、今後の追加情報、事故調査の進展等により、変更又は削除される可能性があります。

6. 特記事項

(1) 株式会社ノーリツが製造した石油給湯機について（管理番号：A201600423）

① 事故事象について

株式会社ノーリツ（法人番号：6140001010383）が製造した石油給湯機を使用中、当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生しました。当該事故の原因は、現在、調査中です。

② 当該製品のリコール（無償改修）について

同社は、当該製品を含む対象製品（下記③）について、電磁ポンプの制御弁に使用されているリング（パッキン）が劣化して硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生したことにより、漏れた灯油に引火し、火災に至る可能性があることから、事故の再発防止を図るため、2002年（平成14年）10月24日以降、複数回にわたって新聞社告を掲載し、対象製品について無償改修（安定した材質のリングに交換）を実施しています。

さらに、全石連（全国石油商業組合連合会及び全国石油共済協同組合連合会）を通じて、47都道府県の石油商業組合又は石油組合に加盟している石油販売事業者に協力を依頼し、灯油の納入先にリコール対象製品がないか確認を行うなど、対象製品の改修促進を図っています。

なお、今般報告のあった当該事故（管理番号：A201600423）が上記のリコール事象によるものかどうかは現時点では不明です。

③ 対象製品：会社名、ブランド、製品名、対象製造期間、改修対象台数

会社名	ブランド	製品名	対象製造期間	改修対象台数
(株)ノーリツ	NORITZ	OTQ-302 * OTQ-303 * OTQ-305 * OTQ-403 * OTQ-405 * OQB-302 * OQB-305 * OQB-403 * OQB-405 *	1997年3月 ～ 2001年3月	180,900
高木産業(株) (現 パーパス(株))	パーパス	AX-400ZRD		
日立化成工業(株) (現 (株)ハウステック)	—	HO-350 * HO-360 * HO-450 * KZO-460 *		

注：製品名の末尾の*には英数字が続きますが、全て該当品です。

2002年（平成14年）10月24日からリコール（無償改修）を実施
改修率：98.5%（2016年10月31日時点）

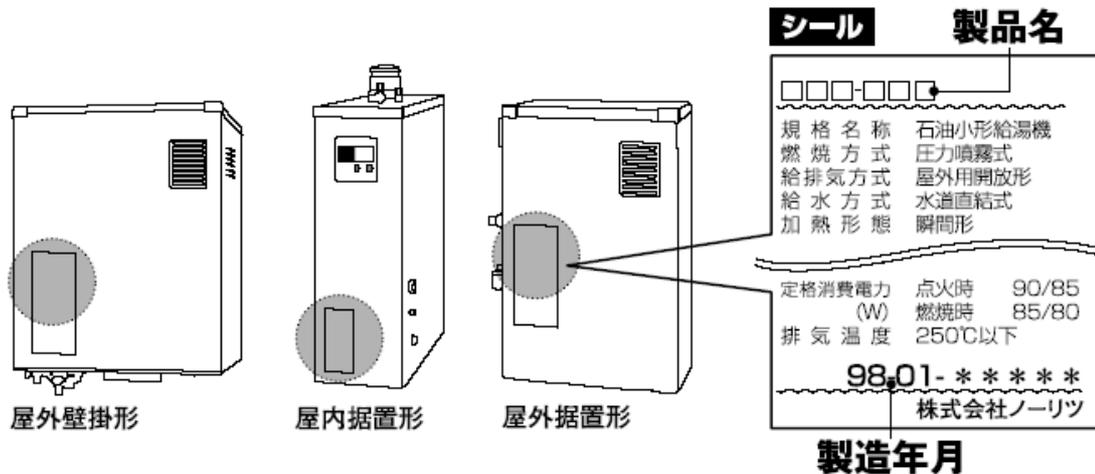
<リコール対象製品での事故件数>

当該事故（管理番号：A201600423）発生以前の、当該製品におけるリコール対象の内容による2010年度以降の事故（調査中のものであってリコール対象の内容の事故かどうか不明なものを含む。）の件数は、次のとおりです。これらは、消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告を受けたものです。

年度	事故件数	被害状況	年度	事故件数	被害状況
2016年度	0	—	2012年度	10	火災
2015年度	2	火災	2011年度	7	火災
2014年度	4	火災	2010年度	12	火災
2013年度	7	火災			

<対象製品の確認方法>

製品名、製造年月は器具本体前面にシールで表示されています。
排気及び設置方式により、図のような形状があります。



④使用者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う無償改修を受けていない方は、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

なお、改修対象製品には、株式会社ノーリツの「NORITZ」ブランドのほか、高木産業株式会社（現 パーパス株式会社）の「パーパス」ブランド、日立化成工業株式会社（現 株式会社ハウステック）の製品もあります。

【問合せ先】

株式会社ノーリツ

電話番号：0120-018-170

受付時間：9時～18時（平日）

ウェブサイト：<http://www.noritz.co.jp/info/05-1.html>

パーパス株式会社

電話番号：0120-575-399

受付時間：9時～18時（土・日・祝日、年末年始を除く。）

ウェブサイト：<http://www.purpose.co.jp/home/announce/product/wh200210.html>

株式会社ハウステック

電話番号：0120-551-654

受付時間：9時～17時30分（平日）

ウェブサイト：<http://www.housetec.co.jp/2002/10/ho-350.html>

⑤一般社団法人日本ガス石油機器工業会による取組

一般社団法人日本ガス石油機器工業会では、石油給湯機等について、上記のリコール開始後も未改修品での事故が発生しているため、同じ構造の電磁ポンプを有する石油給湯機を製造した株式会社ノーリツ、東陶ユプロ株式会社（現 TOTO株式会社）、長州産業株式会社及びOEMを含む6社と共同で、2008年（平成20年）11月から12月にかけて、順次、新聞社告を新聞各紙に掲載し、未改修の該当機種をお持ちの消費者に対して速やかに連絡を頂くよう呼び掛けを行っています。

また、同工業会のウェブサイトにおいて、東京ツチヤ販売株式会社及び株式会社ワカサの2社を加えた8社について注意喚起をしています。

対象製品をお持ちで、まだ製造事業者等の行う無償改修を受けていない方は、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

対象製品：ブランド名、会社名、機種・型式、対象製造期間、問合せ先

ブランド名<会社名>	機種・型式、対象製造期間	問合せ先
NORITZ <株ノーリツ>	OTQ-302 * OTQ-303 * OTQ-305 * OTQ-403 * OTQ-405 * OQB-302 * OQB-305 * OQB-403 * OQB-405 * 製造期間：1997年3月～ 2001年3月	ウェブサイト http://www.noritz.co.jp/info/05-1.html 電話番号：0120-018-170
ハウステック <日立化成工業株 (現 株ハウステック)>	H0-350 * H0-360 * H0-450 * KZ0-460 * <株ノーリツ製> 製造期間：1997年3月～ 2001年3月	ウェブサイト http://www.housetec.co.jp/2002/10/h0-350.html 電話番号：0120-551-654
TOTO <東陶ユプロ株 (現 TOTO株)>	RPE32K * RPE40K * RPE41K * RPH32K * RPH40K * RPH41K * 製造期間：1995年8月～ 1999年6月	ウェブサイト http://www.toto.co.jp/News/yupro/index.htm 電話番号：0120-444-309
パーパス <高木産業株式会社 (現 パーパス株)>	TP-BS320 * D (ただし、TP-BS320は除く。) TP-BS402 * D TP-BSQ402 * <TOTO株製> 製造期間：1995年8月～ 1999年6月 AX-400ZRD <株ノーリツ製> 製造期間：1997年3月～ 2001年3月	ウェブサイト http://www.purpose.co.jp/home/announce/product/wh200210.html 電話番号：0120-575-399
NEPON <ネポン株>	URA320 URA320S URB320 URB320S UR320 UR320S UR404S <TOTO株製> 製造期間：1995年8月～ 1999年6月	ウェブサイト http://www.toto.co.jp/News/yupro/index.htm 電話番号：0120-444-309 TOTO株で受付

ブランド名<会社名>	機種・型式、対象製造期間	問合せ先
日本ボイラーメンテナンス <株式会社日本ボイラーメンテナンス社>	UFN-333A (湯FO) <TOTO(株)製> 製造期間:1995年8月～ 1999年6月	ウェブサイト http://www.toto.co.jp/News/yupro/index.htm 電話番号:0120-444-309 TOTO(株)で受付
C I C <長州産業(株)>	PDX-403D DX-403D PDF-403D DF-403D DX-403DF 製造期間:1996年5月～ 1999年10月	ウェブサイト http://www.choshu.co.jp/2009/0506200057.html 電話番号:0120-652-963
	PDF-321V PDF-401A PDF-411D-A DX-411D PDX-321V PDX-411D <TOTO(株)製> 製造期間:1995年8月～ 1999年6月	ウェブサイト http://www.toto.co.jp/News/yupro/index.htm 電話番号:0120-444-309
ツチヤ <東京ツチヤ販売(株)>	AX-402A EX-403A FK-405A FC-406A <長州産業(株)製> 製造期間:1996年5月～ 1999年10月	ウェブサイト http://www.choshu.co.jp/2009/0506200057.html 電話番号:0120-652-963 長州産業(株)で受付
ワカサ <株式会社ワカサ>	WBF-400C <長州産業(株)製> 製造期間:1996年5月～ 1999年10月	

注：機種・型式名の末尾の*には英数字が続きますが、全て対象製品です。

(一般社団法人日本ガス石油機器工業会)

ウェブサイト：http://www.jgka.or.jp/information/2008/pdf/2008_11_21_sekiyuky uutouki_mushoutenken.pdf

(2) アイリスオーヤマ株式会社が輸入した除湿機について（管理番号：A201600424）

① 事故事象について

アイリスオーヤマ株式会社（法人番号：3370001006799）が輸入した除湿機を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生しました。当該事故の原因は、現在、調査中です。

② 当該製品のリコール（無償点検・修理）について

同社は、当該製品を含む対象製品（下記③）について、転倒時オフスイッチの不具合により、当該スイッチが異常発熱し、発煙・発火に至るおそれがあることから、事故の再発防止を図るため、2016年（平成28年）8月24日にウェブサイトへ情報掲載を行うとともに、同日以降、顧客情報を保有している消費者へのダイレクトメール送付及び店頭告知を行い、対象製品について無償で点検及び修理を実施しています。

なお、今般報告のあった当該事故（管理番号：A201600424）が上記のリコール事象によるものかどうかは現時点では不明です。

③ 対象製品：製品名、品番、シリアルNo.、販売期間、対象台数

製品名	品番	シリアルNo.	販売期間	対象台数
除湿機（デシカント式）	EJD-70N	121200001	2013年1月	26,551
		～ 160299999	～ 2016年7月	

2016年（平成28年）8月24日からリコール（無償点検・修理）を実施
改修率：23.3%（2016年10月31日時点）

<リコール対象製品での事故件数>

当該事故（管理番号：A201600424）発生以前の、当該製品におけるリコール対象の内容による2013年度以降の事故（リコール開始の契機となった事故を含む。）の件数は、次のとおりです。これらは、消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告を受けたものです。

年度	事故件数	被害状況	年度	事故件数	被害状況
2016年度	1	火災	2014年度	0	—
2015年度	1	火災	2013年度	0	—

<対象製品の的外観>



<対象製品の確認方法>

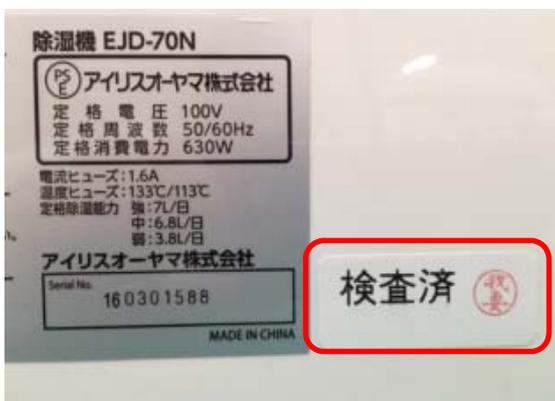
1) 対象製品

製品背面に貼られているシールで品番とシリアルNo.を御確認ください。
品番がEJD-70NでシリアルNo.121200001～160299999のものが対象となります。



2) 対象外製品

品番とシリアルNo.が対象製品に該当するものであっても、シリアルNo.の脇に「検査済」のシールが貼られているものは既に点検・修理対応されているものです。



④使用者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う無償点検及び修理を受けていない方は、直ちに使用を中止し、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

【問合せ先】

アイリスオーヤマ株式会社 除湿機EJD-70N専用アイリスコール

電話番号：0800-222-8989（無料）

※携帯電話・PHSからも利用できます。

受付時間：9時～17時（月～金曜日）

9時～12時、13時～17時（土・日・祝日）

※年末年始、夏季休業期間、事業者都合による休日は除く。

ウェブサイト：<http://www.irisohyama.co.jp/safetyinfo/ejd-70n.html>

(3) 松下電器産業株式会社（現 パナソニック株式会社）が製造した電気こんろについて（管理番号：A201600427）

※松下電工株式会社（現 パナソニック株式会社）製ミニキッチン「GG7834」に組み込まれたもの

①事象について

松下電器産業株式会社（現 パナソニック株式会社（法人番号：5120001158218））が製造した電気こんろの上に置いていた可燃物を焼損する火災が発生しました。

当該事故の原因は、現在、調査中ですが、身体等が当該製品のつまみに触れてスイッチが入り、当該製品の上に置いていた可燃物が燃えたものと考えられます。

②再発防止策について

ミニキッチン等に組み込まれた電気こんろで、スイッチ部のつまみが飛び出ている形状のものについては、身体や荷物が知らないうちにつまみに触れ、スイッチが入ってしまい、火災に至る事故が相次いで発生しています。

このため、同社を含む電気こんろメーカー及びキッチンユニットメーカー13社により「小形キッチンユニット用電気こんろ協議会」が設立され、2007年（平成19年）7月3日から無償改修（スイッチ部のつまみにカバーを付ける）の取組を実施し、新聞社告への掲載、新聞折り込みチラシの配布を行うとともに、各地の消防局に協力要請を行う等、無償改修を進めています（現在11社が継続実施。）。

今回報告のあった事故（管理番号：A201600427）の製品は、同協議会が取り組んでいる無償改修の対象製品であったことから、今後も更なる無償改修の促進に向けて取り組んでいくこととしています。

③対象製品

対象製品の機種・型式及び各事業者名、問合せ先等は、別添のとおりです。

【リコール実施状況】

2007年（平成19年）7月3日からリコール（無償改修）を実施。

改修対象台数、改修率

一口電気こんろ（今般事故の型式NK-2102を含む。）

改修対象台数 530, 401台（全社合計）

改修率 96.5%（2016年10月31日時点）

上面操作一口電気こんろ

改修対象台数 60, 969台（全社合計）

改修率 74.4%（2016年10月31日時点）

複数口電気こんろ

改修対象台数 147, 700台（全社合計）

改修率 69.9%（2016年10月31日時点）

<リコール対象製品での事故件数>

当該事故（管理番号：A201600427）発生以前の、当該製品におけるリコール対象の内容による2010年度以降の事故の件数は、次のとおりです。これらは、消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告を受けたものです。

年度	事故件数	被害状況	年度	事故件数	被害状況
2016年度	0	—	2012年度	4	火災
2015年度	2	火災	2011年度	5	火災
2014年度	3	火災	2010年度	2	火災
2013年度	1	火災			

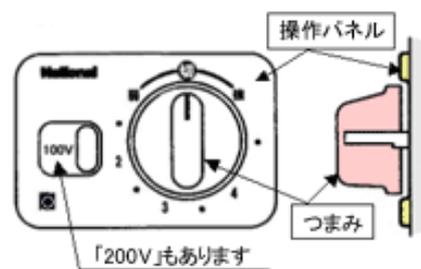
<対象製品の外観及び確認方法>

1) 対象製品の外観

(正面及び断面図)



(スイッチ部)



2) 対象製品の確認方法

スイッチ部のつまみを御確認ください。



改修前：カバー無し



改修後：カバー付き

- 「メーカー名」及び「品番」については、扉の内側やスイッチなどを御確認ください。
- 「品番」が表示されていない場合は、「メーカー名」又は「スイッチ部の形状」を御確認の上、下記問合せ先まで御連絡ください。
- 改修対象の電気こんろは、スイッチ部のつまみが飛び出ているタイプになります。

④使用者への注意喚起

電気こんろの上や周辺に可燃物を置くことを避けていただくとともに、電気こんろのスイッチ部のつまみにカバーのない製品をお使いで、まだ当該つまみにカバーを付ける改修を受けていない方は、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

使用者の方々及び対象製品を設置するアパート等を所有又は管理されている方々におかれては、事業者が行う訪問改修に御協力いただくようお願いします。

【問合せ先】

パナソニック株式会社

電話 番号：0120-391-391

受付 時間：9時～17時（土・日・祝日を除く。）

ウェブサイト：<http://panasonic.co.jp/ap/info/important/cooking/index.html>

小形キッチンユニット用電気こんろ協議会

電話 番号：0120-355-915

受付 時間：9時～17時（土・日・祝日を除く。）

ウェブサイト：<http://www.denki-konro.jp/>

（参考）

消費者庁では、2014年（平成26年）6月11日に「お持ちではありませんか？リコールが行われている台所用機器」として、リコールが行われている電気こんろ、電子レンジ、電気冷蔵庫、食器洗い乾燥機、IH調理器、電気ケトルで火災等が発生した14製品について、リコール対象機種・型式を提示し、発煙・発火のおそれがあるとして注意を呼び掛けています。

ウェブサイト：http://www.caa.go.jp/safety/pdf/140611kouhyou_1.pdf

火災事故防止に向けて 改修のお願い

1977年から2004年までに製造したキッチンユニット等でご使用の電気こまろを探しています

身体や物が接触し、意図せずスイッチが「入」となる可能性がある構造であったために、電気こまろの上や周囲に可燃物が置かれていて、火災事故に至る危険性があります。



一口こまろ (前面操作) ※写真は富士工業製



一口こまろ (上面操作)
ブランド表示はHITACHIまたは、SUNWave



複数口こまろ (前面操作のみ)

対象製品 スイッチ部外観例



つまみが飛び出している電気こまろが対象です。

改修済み製品 スイッチ部外観例



周りにガードのあるつまみは改修済みです。引き続きご使用いただけます。

【対象製品】

形式	電気こまろメーカー (現社名)	電気こまろ品番
前面操作一口電気こまろ※1	サンウエーブ工業	SBE-101-100V, SBE-101-200V, FHS-31A, FHS-31B
	東芝ライフスタイル (旧東芝株式会社 東芝コンシューママーケティング株式会社)	BHP-111, BHP-121
	パナソニック アプライアンス社 (旧社名 松下電器産業株式会社)	NK-1101, NK-1102, NK-2101, NK-2102
	日立アプライアンス	HT-1250, HT-1550, HT-1250T
	ハウステック (旧社名 株式会社日立ハウステック)	HK-1102, HK-2102, HT-1250C
	富士工業	FH-31A, FH-31B (品番表記がなく、100V, 200Vのみを表示している製品もあります。)
上面操作一口電気こまろ※1	サンウエーブ工業	HT-1290, HT-1500
	日立アプライアンス	HT-1290, HT-1290T, HT-1500
複数口電気こまろ※2	サンウエーブ工業	SBE-2G, SBE-3G, SBE-3T
	東芝ライフスタイル (旧東芝株式会社 東芝コンシューママーケティング株式会社)	HP-2000, HP-2000J, HP-2000T, HP-3000, UHP-S36A, UHP-S36AT, BHP-361T, BHP-365, BHP-461, BHP-461N, BHP-461W
	パナソニック アプライアンス社 (旧社名 松下電器産業株式会社)	NK-2220, NK-2251, NK-2252, NK-2306, HNT-2200 (※3), NK-2201, NK-2202, NK-2203, NK-2301, NK-2302, NK-2303, NK-2204, NK-2204CM, NK-2204M, NK-2304, NK-2305, NK-2307
	日立アプライアンス	HT-3000G, HT-3010G, HT-3310, HT-3510, HT-3511A, HT-4510, HT-D3451, HT-D4451, HT-D4451SS
	富士工業	FH-62, FH-621, FH-63, NSH-621, SBA-201, SBA-211, SBA-211A, SBA-301, SBA-311, SBA-311L

※1, 小形キッチンユニット (冷蔵庫付きタイプ・扉仕様タイプ等もあります) に組み込まれています ※2, 据置型・ビルトイン型があります ※3, ブランド名はHEC

上記電気こまろは、下記協議会加盟キッチンユニットメーカー他のキッチンまたはキッチンテーブル等に組み込まれている場合があります。

【小形キッチンユニット用電気こまろ協議会加盟キッチンユニットメーカー (五十音順)】

クリナップ株式会社、三協立山株式会社、タカラスタンダード株式会社、パナソニック株式会社 エコソリューションズ社

【小形キッチンユニット用電気こまろ協議会加盟会社名・お問い合わせ先 (五十音順)】

誠に申し訳ありませんが電気こまろのスイッチを無償で改修いたしますので、下記フリーダイヤルへご連絡ください。

クリナップ株式会社
0120-126-174 <http://cleanup.jp/>

三協立山株式会社
0120-202-436 (旧社名 三協立山アルミ株式会社) <http://www.st-grp.co.jp/>

タカラスタンダード株式会社
0120-200-805 <http://www.takara-standard.co.jp/>

東芝ライフスタイル株式会社
0120-668-401 (旧東芝株式会社 東芝コンシューママーケティング株式会社) <http://www.toshiba.co.jp/tha/>

株式会社ハウステック
0120-524-852 (旧社名 株式会社日立ハウステック) <http://www.housetec.co.jp/>

パナソニック株式会社 アプライアンス社
0120-391-391 (旧社名 松下電器産業株式会社) <http://panasonic.co.jp/>

パナソニック株式会社 エコソリューションズ社
0120-116-484 (旧社名 松下電器工業株式会社) <http://panasonic-denko.co.jp/>

日立アプライアンス株式会社
0120-256-557 <http://www.hitachi-ap.co.jp/>

富士工業株式会社
0120-500-621 <http://www.fjic.co.jp/>

三菱電機株式会社
0120-099-506 <http://www.mitsubishielectric.co.jp/>

株式会社 LIXIL
0120-190-530 (旧社名 サンウエーブ工業株式会社) <http://www.sunwave.co.jp/>

フリーダイヤル受付時間 9:00~17:00 (土、日、祝日を除く)

お客様からご提供いただきました氏名・住所・電話番号などの個人情報は、当該製品の点検と改修目的以外には使用いたしません。

小形キッチンユニット用電気こまろ協議会 0120-355-915 メールアドレス dkk.jimu@denki-konro.jp

<http://www.denki-konro.jp/>



【本発表資料の問合せ先】

消費者庁消費者安全課（製品事故情報担当）

担 当：柳川、平野、清重

電 話：03-3507-9204（直通）

F A X：03-3507-9290

経済産業省商務流通保安グループ製品安全課製品事故対策室

担 当：下出、鈴木、植杉、高橋

電 話：03-3501-1707（直通）

F A X：03-3501-2805

1. ガス機器・石油機器に関する事故(製品起因か否かが特定できていない事故を含む。)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201600423	平成28年10月26日	平成28年11月2日	石油給湯機	OQB-305F	株式会社ノーリツ	火災	当該製品を使用中、当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	北海道	製造から15年以上経過した製品 平成14年10月24日からリコールを実施(特記事項を参照) 改修率:98.5%

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201600424	平成28年10月22日	平成28年11月4日	除湿機	EJD-70N	アイリスオーヤマ株式会社 (輸入事業者)	火災	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	鹿児島県	平成28年11月4日に消費者安全法の重大事故等として公表済 平成28年8月24日からリコールを実施(特記事項を参照) 改修率:23.3%
A201600425	平成28年10月24日	平成28年11月4日	電子レンジ	IMB-T171-5	アイリスオーヤマ株式会社 (輸入事業者)	火災	店舗で当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	東京都	
A201600426	平成28年10月15日	平成28年11月4日	電気カーペット	DR2003A1	松下電工株式会社 (現 パナソニック株式会社) (輸入事業者)	火災	当該製品を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	兵庫県	平成28年10月27日に消費者安全法の重大事故等として公表済

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故(続き)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生日都道府県	備考
A201600427	平成28年10月27日	平成28年11月4日	電気こんろ	NK-2102(松下 電工株式会社 (現 パナソニック 株式会社)製ミ ニキッチン「 GG7834」に組み 込まれたもの)	松下電器産業株式会 社(現 パナソニック 株式会社)	火災	当該製品の上に置いていた可燃物を焼損す る火災が発生した。 事故の原因は、現在、調査中であるが、身体 等が当該製品の上につまみに触れてスイッチが入 り、当該製品の上に置いていた可燃物が燃え たものと考えられる。	京都府	製造から25年 以上経過した 製品 平成19年7月3 日から事業者 が共同してリ コールを実施 (特記事項を参 照) 改修率:96.5% (一口電気こん ろ合計)
A201600431	平成28年9月22日	平成28年11月4日	リチウム電池内蔵 充電器	HAC1078	株式会社ハック (輸入事業者)	火災	異音が生じたため確認すると、当該製品を焼損 する火災が発生していた。現在、原因を調査 中。	埼玉県	事業者が重大 製品事故とし て認識したの は平成28年9 月23日 報告書の提出 期限を超過し ていることか ら、事業者に対 し嚴重注意
A201600432	平成28年10月15日	平成28年11月4日	リチウム電池内蔵 充電器	HAC1182	株式会社ハック (輸入事業者)	火災	当該製品を使用中、当該製品を焼損する火 災が発生した。現在、原因を調査中。	東京都	事業者が重大 製品事故とし て認識したの は平成28年10 月17日 報告書の提出 期限を超過し ていることか ら、事業者に対 し嚴重注意
A201600433	平成28年10月20日	平成28年11月4日	リチウム電池内蔵 充電器	HAC1078	株式会社ハック (輸入事業者)	火災	当該製品を焼損する火災が発生した。現在、 原因を調査中。	東京都	

3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201600428	平成28年10月13日	平成28年11月4日	電気あんか	火災 軽傷1名	施設で当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生し、1名が火傷を負った。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	埼玉県	
A201600429	平成28年10月21日	平成28年11月4日	携帯電話機(スマートフォン)	火災	電車内で当該製品を焼損する火災が発生した。事故発生時の状況を含め、現在、原因を調査中。	京都府	
A201600430	平成28年10月7日	平成28年11月4日	脚立(アルミニウム合金製)	重傷1名	当該製品を使用中、転落し、右足を負傷した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	京都府	事業者が重大製品事故として認識したのは平成28年10月26日

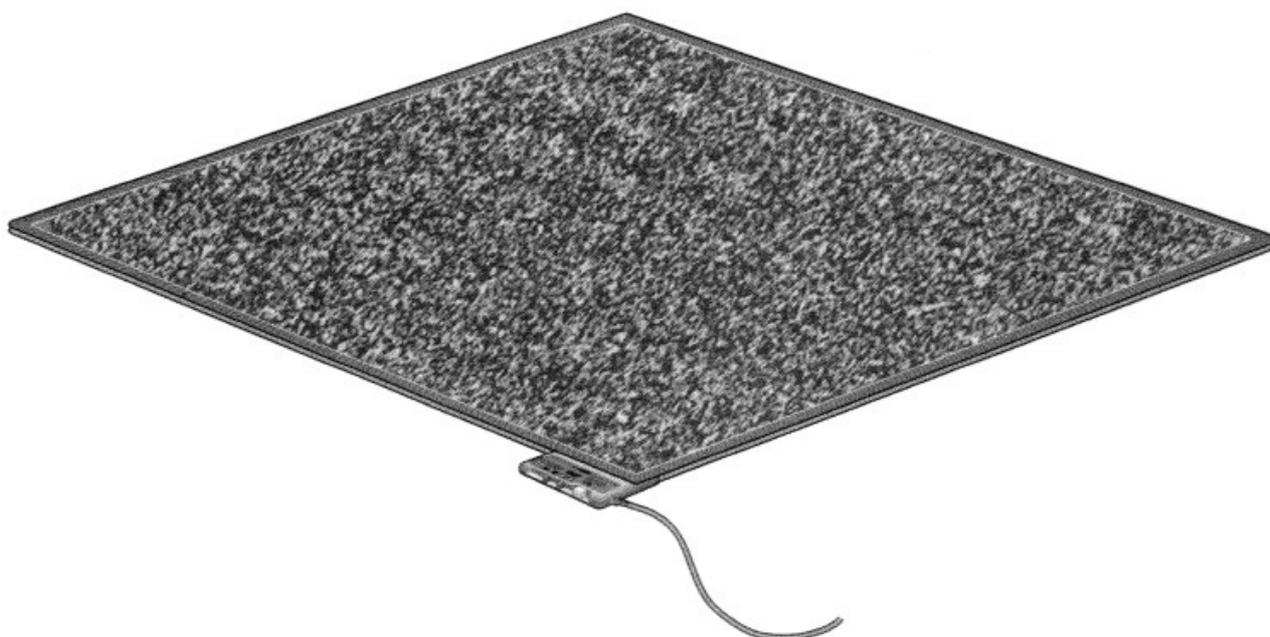
4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故調査判定合同会議において審議を予定している案件

該当案件無し

電子レンジ（管理番号：A201600425）



電気カーペット（管理番号：A201600426）



リチウム電池内蔵充電器（管理番号：A201600431、A201600433）



リチウム電池内蔵充電器（管理番号：A201600432）

